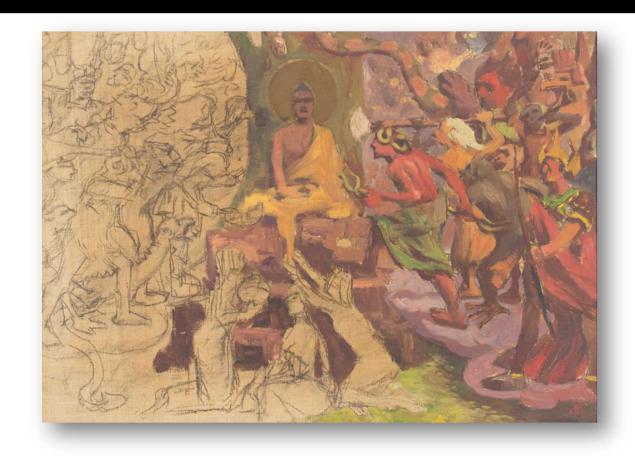
《未醒》

時代の小杉放菴

新発見《降魔(習作)》初公開

 $_{2020}$ f 10 f 31 f [\pm] - 12 f 20 f [\pm]



① 小杉未醒《降魔(習作)》1907(明治 40)年頃 カンヴァス/油彩

【プレスリリースのお問い合わせ】展覧会・広報担当:迫内(さこうち)

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内 2388-3

電話:0288-50-1200 FAX:0288-50-1201

担当者 E-mail: sakouchi-yuji@khmoan.jp



時代の小杉放菴 新発見《降魔(習作)》初公開

 $_{2020}$ 年10月31日[土] -12月20日[日]

小杉放菴は、その生涯に本名や雅号が何度も変わっていることをご存知でしょうか。1881 (明治 14) 年に生まれた時の本名は「小杉国太郎」ですが、3歳から 20歳までは他家に養子にいっており「国府漢国太郎」といった時代もありました。この間に師・五首城交哉から〈台東〉という雅号をつけてもらうも、これはあまり使わなかったようです。1901 (明治 34) 年5月に小杉家に復籍した頃、自ら雅号〈未醒〉を名乗り、本格的に画家としての活動を始めました。その後、1923 (大正 12) 年頃に〈放庵〉、1933 (昭和 8) 年末に〈放菴〉へと雅号を変えていきました。〈放庵〉に変えてすぐの頃は、5年間ほど〈放庵未醒〉と署名していた時期もありました。

今回の展覧会は、小杉放菴が画家として活動を始め、画壇での地位を確立した〈未醒〉時代、20歳から47歳までにあたる1901~1928年の作品に注目するものです。1904(明治37)年、日露戦争に報道画家として従軍し、戦地の様子を伝えるスケッチが雑誌に頻繁に掲載され、「小杉未醒」の名が広く知られていきました。そして1910(明治43)年からの文部省主催美術展[文展]での連続受賞、1914(大正3)年の横山大観との日本美術院再興、1922(大正11)年の春陽会設立と、その画業における重要な出来事が、この〈未醒〉時代に多くありました。この時代を再考することは、小杉放菴の画業を研究するうえで、重要な意義を持つと考えます。

さらに本展では、令和元年度に日光市が購入した油彩画《降魔(習作)》を始め、近年発見された、〈未醒〉を 名乗り始めて間もない時期の水彩画が初公開となります。《降魔(習作)》は、1907(明治 40)年の東京勧業博覧 会に出品された油彩画の習作と考えられ、出品作自体は所在不明になっているため、本作は未醒時代初期の作風 を知ることが出来る貴重なものです。これら、従来等閑視されていた時代の作品の出現は、小杉放菴研究に大き く寄与することになると期待しています。

【見どころ】

(1)〈未醒〉時代の作品をまとまって見ることが出来る。

当館では定期的に小杉放菴の特集展示を行いますが、生涯の画業を展望できるような構成をとることが多く、〈未醒〉時代のみにしぼった展示は、1998 年 11 月のコレクション展「小杉放菴所蔵作品撰 未醒時代を中心に」以来、22 年ぶりとなります。現在までに〈未醒〉時代のコレクションはかなり増え、今回は約 70 点の〈未醒〉時代作品により、小杉の初期から壮年期までの画業をたどることが出来る絶好の機会となります。

(2) 初公開される、初期の油彩画《降魔(習作)》

「未醒」時代のなかでも、20 代の頃の油彩画が出現することは現在ではきわめて稀です。《降魔(習作)》は習作とはいえ、若い時代のタッチがうかがえる貴重な作品といえます。本展は収蔵後、初公開となる展覧会です。





② 小杉未醒《東照宮》1900 年代 紙/水彩



③ 小杉未醒《かぐや姫》 1915 (大正 4) 年 紙/着色



④ 小杉未醒《飲馬》 1914 (大正3) 年 カンヴァス/油彩 再興第1回院展



⑤ 小杉未醒《中国神話図》 1916 (大正 5) 年頃 絹本着色、屏風



⑥ 小杉未醒《瓢中駒》 1918 (大正 7) 年頃 絹本着色



⑦ 小杉放庵未醒《母子採果》1926 (大正 15) 年頃 カンヴァス/油彩

主催:公益財団法人小杉放菴記念日光美術館/日光市/日光市教育委員会/下野新聞社

開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日は開館し、その翌日を休館)

入館料:一般 730 (650) 円、大学生 510 (460) 円、高校生以下は無料

※ () 内は 20 名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

※第3日曜日「家庭の日」(11月15日、12月20日)は、大学生は無料



〈未醒〉時代の小杉放菴 広報用画像申込書

FAX: 0288-50-1201 E-mail: sakouchi-yuji@khmoan.jp 小杉放菴記念日光美術館 迫内行

■ 画像ご使用に際してのお願い

- ・ご希望の図版の左枠内に✔を入れて、FAX かメールにてお送りください。
- ・使用目的は、本展のご紹介のみに限ります。
- ・画像は、原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、文字のせは無断で行なわないよう、 お願いいたします。
- ・掲載する場合は、作者名と各画像のキャプションを必ず記載してください。
- ・画像のご使用は1申込につき1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- ・基本情報確認のため、展覧会担当まで一度校正紙をお送りください。
- ・掲載見本を展覧会担当までご送付いただきますよう、お願いいたします。

/	No.	作品
	1	小杉未醒 《降魔 (習作)》 1907 年頃 カンヴァス/油彩 小杉放菴記念日光美術館蔵
	2	小杉未醒《東照宮》1900 年代 紙/水彩 小杉放菴記念日光美術館蔵
	3	小杉未醒《かぐや姫》 1915 年 紙/着色 小杉放菴記念日光美術館蔵
	4	小杉未醒《飲馬》 1914 年 カンヴァス/油彩 小杉放菴記念日光美術館蔵
	5	小杉未醒《中国神話図》 1916 年頃 絹本着色, 屏風 小杉放菴記念日光美術館蔵
	6	小杉未醒《瓢中駒》 1918 年頃 絹本着色 小杉放菴記念日光美術館蔵
	7	小杉放庵未醒《母子採果》1926 年頃 カンヴァス/油彩 小杉放菴記念日光美術館蔵

貴社名:	雑誌名等:
ご担当者名:	Tel :
Fax:	E-mail:

その他